大学・高専機能強化支援事業
（学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）【支援１】
事業概要

令和5年7月時点

１.基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F128310108883
大学名	武庫川女子大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	兵庫県
大学全体の総収容定員数	9,664 名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	文学部（日本語日本文学科、英語グローバル学科）、教育学部（教育学科）、心理・社会福祉学部（心理学科、社会福祉学科）、健康・スポーツ科学部（健康・スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科）、生活環境学部（生活環境学科）、社会情報学部（社会情報学科）、食物栄養科学部（食物栄養学科、食創造科学科）、建築学部（建築学科、景観建築学科）、音楽学部（演奏学科、応用音楽学科）、薬学部（薬学科、健康生命薬科学科）、看護学部（看護学科）、経営学部（経営学科）		

２.事業概要

武庫川女子大学を設置する武庫川学院は、これまでJST女子中高生の理系進路選択支援プログラム選定事業を活用した女子生徒向けの理系進路選択促進等、女子生徒の探求心を養う事業に取り組んできた。

この度、地球環境・自然環境問題に取り組み、理工系の素養をもち、深い洞察力を備えた課題解決力を持った人材育成ニーズに対応することと、本学の更なる産学連携先との連携強化・拡大を目的として、環境問題についての専門性、考察力、行動力を持った人材を育成するため、入学定員１２０名、収容定員４８０名からなる環境共生学部を令和７年度に開設予定である。

具体的には、**フィールドワーク**や**企業等と連携した課題解決型の社会連携プロジェクト科目**を1年次から順次展開し、環境工学の周辺分野も幅広く学びながら、4年次の卒業研究へとつなげる体系的なカリキュラムを編成することとしている。

また、1学年全員がグループワークを実施しつつ、簡単な作業と実験解析ができる**「プロジェクトルーム」**の整備も計画している。

３.本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和7年度					
認可申請・届出予定	令和6年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入				
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	環境共生学部環境共生学科					
設置等組織の学位分野	工学関係					
当該学部等の所在地	兵庫県西宮市					
入学定員	120 名					
収容定員	480 名					
入学定員の増加数	120 名					
他学部等の入学定員の減少数	0 名					

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。

令和５年度選定　支援１　　武庫川女子大学

＜基本情報＞
改組予定年度：令和７年度
改組内容：学部の設置（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名：環境共生学部環境共生学科
入学定員：【R7新設】120名
所在地：兵庫県西宮市

＜新設学部のコンセプト＞

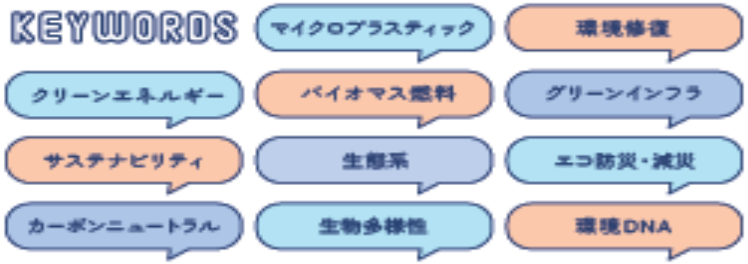
自然と地球が抱える問題に、立ち向かう女性になる！

身近な里山・里海から地球全体まで、自然界は今さまざまな環境問題を抱えています。その解決に様々な側面から挑める、勇気と実力を備えた環境系研究・技術者を育成します。

＜教育内容＞

冒険、発見、学び、発信

周辺の里山・里海や環境保全施設を巡るフィールドワークを低学年から実施。学生自身が発見した課題にグループワークで挑み、社会と連携しながら解決をめざします。また、環境保全や自然共生システムに関する専門科目を充実させ、実践力と研究力の双方を養っていきます。



＜申請要件＞【特色】
②十分な学生確保の見通しを備えた計画
➡本学既設の工学分野を有する学部・学科の入学志願状況を踏まえ、**工学分野への女子学生の進学ニーズ**を把握。今後、保護者、高校・予備校関係者、高校生を対象にアンケート調査を実施するとともに新学部構想を周知すべく各種メディアにおいて広報活動を展開。
③産業界を含む社会のニーズ等を踏まえた学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成、入学者選抜の実施等に係る計画
➡**フィールドワーク**や企業等と連携した課題解決型の**社会連携プロジェクト科目**を1年次から順次展開。
一般選抜や学校推薦型選抜のほか、確かな学力と多様な資質を持った受験生を受け入れる**多面的評価入試**（ MUKOJO未来教育総合型選抜 ）を実施する。
④特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画
➡自然環境や環境整備保全関連施設の観察を通して独自に問題点や課題を設定して学習設計を行う。
新設する**「プロジェクトルーム」**での共同作業や研究室を巡る**ラボローテーションを**通じて実践力を養う。
⑤実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画
➡**バイオマス発電や新素材開発経験**、野生生物の生態調査といった領域において企業等で実務経験のある教員を複数配置する。
⑦社会において具体的な人材ニーズが現に存在、又は、十分な見通し
➡今後、成長が期待される環境分野で専門性を備えた課題解決力で社会貢献できる人材の育成を目指す。設置構想について地域の酒造メーカー等と協議。
⑪寄附金、研究費等の外部資金獲得に係る計画
➡**科研費の採択件数拡大**のため、補助金申請に精通した専任教員が講師を務める**「KAKEN塾」**を学内で開講。
その他、若手・女性研究者の支援や**組織横断型研究プロジェクト**を形成し、大型研究費の獲得を目指す。
⑫自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画
➡**奈良女子大学と連携**して工学分野についての単位互換や授業科目の共同開設、共同研究や共同FD、教員や学生の交流を推進。
多様な入試制度の実施と学内施設（保育ルーム、国際寮）の整備
【特色】 ＪST 女子中高生の理系進路選択支援プログラム選定事業を活用した女子生徒向けの探求心の養成と理系進路選択促進の取組を実施。
さらなる連携先の強化・拡大